

京都技術士会 会員各位

12月担当幹事 竹内貞夫、柴田究、服巻博史

会員の皆様方におかれましては、日頃より京都技術士会の活動にご理解とご協力を頂き御礼申し上げます。
さて下記の通り、12月度例会（講演会・懇親会）の案内をいたします。懇親会につきましては、恒例の忘年会となりますので奮ってのご参加をお願いいたします。

記

日時： 2017年12月9日（土）

受付 13:00～ 講演会 13:30～16:50 / 懇親会 17:30～19:30

会場： ひと・まち交流館 京都 2階 大会議室

1. 挨拶 13:30～13:35 野田 公彦 会長

2. 講演

【講演1】 13:35～14:10 講師：川端 正詳 副会長／技術士（機械・総合技術監理部門）

タイトル： 東北RST活動報告

概要： 東日本大震災復興支援として2012年より行っているこども理科実験教室の10/7～8の福島県郡山市、及び10/28の岩手県大船渡市・陸前高田市の実施報告と東北復興状況の報告。

休憩（10分）

【講演1】 14:20～15:20 講師：田岡 直規 技術士（機械・総合技術監理部門）

タイトル： 現代の科学技術における技術者倫理と今後の方向性

概要： 現代の科学技術は巨大化・総合化・複雑化する一方、「科学技術の不確実性」の下、技術者が意思決定を迫られるケースが増加しつつある。このような状況下での技術者倫理と今後の方向性について考察し報告する。

休憩（10分）

【講演2】 15:30～16:30 講師：綾木 光弘 技術士（森林部門）

タイトル： 史上稀な事件に遭遇して感じたこと。技術者の持つべき倫理観と果たすべき社会への貢献

概要： 王子製紙時代東京勤務を17年経験した。その時、非常に印象深い事件に遭遇した。かの地下鉄サリン事件である。傘で穴のあけられたサリンの袋からわずか2mにいた私は、奇跡的に九死に一生を得た。事件を起こしたオウム真理教に帰依した信者の中に、将来を嘱望された研究者・技術者がいた。彼らの思想と行動を通して、研究者・技術者倫理というものを考えてみたい。技術士としてどう世の中に関わっていけるか。この事件を通して、私は大きな解答らしきものを得た。

3. 諸連絡 16:30～16:50

<会場撤収、移動>

4. 懇親会 17:30～19:30 会場： さざんか亭 六角店（7階）

5. 参加費 講演会 1,000円（京都技術士会会員は無料） 懇親会 5,000円（会員、一般参加者）

当日、講演会場受付で徴収します。

【申し込み方法】

12月1日（金）までに下記の申し込みURLの「京都技術士会例会申し込みフォーム」にて、必要事項を入力の上、確認ボタンを押してお申し込み下さい。

懇親会（忘年会）につきましては、会場の都合により 80名に達した時点で締め切りとさせていただきます。

なお、懇親会（忘年会）お申し込み後のキャンセルは、12/6（水）までは無料としますが、それ以降のキャンセルは全額を徴収させていただきます。

申し込みURL <https://kyoto-pe.securesite.jp/reikai/reikai.html>

講演会会場

会場：ひと・まち交流館 京都

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1 （河原町五条下る東側）

TEL：075-354-8711 FAX：075-354-8712

<http://www.hitomachi-kyoto.jp/index.html>



懇親会（忘年会）会場

会場：さざんか亭 六角店（7階）

京都市中京区東木屋町通三条下ル2丁目材木町 183 第六観光ビル

TEL：075-255-0951

